

# みんなのひろば

ここはみなさんが主役のひろばです。  
身近な話題をどんどんお寄せください。

■役場企画室 TEL42-1613

## 防災の誓い新たに

7/3

### 消防協会相馬支部幹部大会



▲大会のようす

相馬地方6市町村の消防団幹部ら約400人が参加し、飯館中体育館で「第44回(財)福島県消防協会相馬支部幹部大会」が開催されました。

この大会は、各市町村持ち回りで毎年開催しているもので、今回は6年振りの飯館会場となりました。

大会では、志賀丈彦相馬支部長と菅野村長からあい

さつがされた後、35年勤続団員に対し支部長表彰が贈られました。続いて、来賓を代表し佐藤剛男衆議院議員、加藤貞夫県議会議員、中野一徳相馬地方管理者会長、菅野義人村議会議員、松田善一原町警察署長から祝辞が述べられました。

また、今回は各市町村の消防団員代表による意見発表会も行われ、飯館村からは第2分団第10部の川井智洋班長が「信頼される団活動を目指して」をテーマに、これまでの消防活動等を発表しました。



▲意見発表する川井班長

## 34チームが熱戦!

7/10

### 第9回 相馬地方ゲートボール大会



▲熱戦を繰り広げる選手たち

相馬地方ゲートボール連絡会が主催する「第9回相馬地方ゲートボール大会」が、いいいたてスポーツ公園陸上競技場で開催されました。

毎年、会場を各市町村持ち回りで開催しているこの大会。6年振りの飯館会場となった今回は、相馬地方6市町村から計34チーム、約130人が参加して行われました。

飯館村からは、村内地区予選を勝ち抜いた小

宮、前田・八和木、白石の3チームが出場。

大会は、予選リーグと決勝トーナメントにより行なわれ、選手たちは、熱戦を繰り広げながら他チームとの交流を深めていました。

大会結果は次のとおりです。

優勝・片草(小高町)  
第2位・新地B(新地町)  
第3位・あさひ(相馬市)  
第4位・江垂(鹿島町)

## 飯樋町 防犯と青少年健全育成に係る組織が発足

7/31 「飯樋町やさしく見まもり隊」 設立準備会



▲隊の設立を確認した準備会

6月に開催された「青少年健全育成緊急村民大会」での決議を受け、さらに学校が夏休みに入り、各地区や子供会育成会などで防犯や青少年健全育成への取り組みが進められています。このうち飯樋町では、地区の防犯と青少年健全育成に係る村で初めてのボランティア組織「飯樋町やさしく見まもり隊」を設立しました。

集会所で開かれた結成準備会には、地区住民65人が出席。荒区長のあいさつに続き、原町警察署飯館駐在所員から、近年の少年犯罪状況や出会い系サイトの危険性などについて説明されました。

その後協議に移り、隊の設立趣旨および概要が説明された後、要綱や役員、活動内容などについて確認されました。主な活動内容は、愛の声かけ運動の推進や、子供たちも一緒に参加して行う見回り活動などです。

「飯樋町やさしく見まもり隊」は、32人の隊員で設立、8月6日に発隊式が行なわれます。

## 7/8 故林庫之進さんに

旭日単光章



▲鈴木局長から勲記を受け取る林総さん

村議会議員や各種団体の会長などを永年にわたり務め、村勢進展に功績があったとして、故林庫之進さん(白石)に、旭日単光章が贈られました。章の伝達式は林さんの自宅で行われ、鈴木和夫相双地方振興局長から林総さんへ勲記と勲章が手渡されました。続いて、甥の庄司勝藏さん(白石)から「親族一同身に余る光栄です。勲章に恥じないよう今後も村づくりに精進してまいります」と謝辞が述べられました。

## 優勝は

### 第1分団第3部(深谷)

7/22

### 第8回村消防団消防操法競技大会

「第8回飯館村消防団消防操法競技大会」が草野小学校で行われ、団員らが日頃の訓練の成果を競いました。

今大会に出場したのは、ポンプ車操法の部に1チーム、小型ポンプ操法の部に8チームの合わせて9チーム、いずれも第1分団からの出場となりました。

競技の結果、第3部

(深谷)が優勝を飾りました。

競技結果(敬称略)

優勝 第3部(深谷)

- 指揮者・佐藤 賢一
- 1番員・松田 直哉
- 2番員・菅野 一三
- 3番員・末永 英之
- 補充員・原田 広和
- 2位 第4部(伊丹沢)
- 3位 第2部(宮内)



▲▼大会のようす



## チャンスを生かして

与えられた機会や役に最大の努力を払い、情熱を傾けることがどんなにも素晴らしい力になるのかというところを、近頃改めて実感したことがあります。その一つは、民生児童委員OB会の総会に出席した時のことでした。民生児童委員として以前活躍された方が辞められても「このまま別れてしまうのはとてもしのびない、寂しい」ということでOB会をつくり、年に何度かボランティア活動をしたり、懇親を深めたりする会をつくられているのです。ほとんどの方が出席し、当時の苦労話などにいっきと花をさかせながら、あたたかも同級会を思わせる素晴らしい雰囲気すっかり圧倒されてしまいました。

お互いの心の強い結びつきをつくった結果が、OB会につながったのでありましょう。

もう一つは、3年前程久しぶりに実施した「若妻の翼PART」の方々のことです。デンマークで民泊のお世話になった2組のご夫妻が来日したのを機会に、飯館村に招待しての歓迎会がありました。

これまた久しぶりに会った家族のような雰囲気の中、互いに親交を深められた様子に、心温まるものがありました。このことも、海外研修という共通体験の中で培われた心のつながりが、行動力となってあらわれたものと思われまます。

人には一生の間にいくつかの機会に巡り合います。その時に全力投球することが、知らず知らずのうちに人を大きくしたり、人と人との素晴らしきつながりをつくらせるものなんだなと思ひ知らされたことでした。

人生は片道切符、大切な人生です。自分の人生を「までい」にしたいものです。

平成17年7月25日

飯館村長 菅野 典雄

## 確かめよう

### 歩行者・スピード車間距離

7/19 「夏の交通事故防止県民総ぐるみ運動」 交通安全街頭キャンペーン



▲安全運転を呼びかける参加者ら

村公民館前駐車場で、交通安全関係団体や飯館ライオンズクラブ、JAそつまの職員ら18人が参加して「交通安全街頭キャンペーン」が行われました。

夏休みに入るこの時期を「夏の交通事故防止県民総ぐるみ運動期間」として、県内各地でキャンペーン活動が行われています。

この日は、県道を通るドライバー約200人に、参加者がチラシや記念品を配りながら安全運転を呼びかけました。

## 「Thank you 飯館村」 サマンサさんからメッセージ



▲2年3組の生徒たちと

平成14年から英語指導助手として本村に来ていた、サマンサ・ガブリエル・シャープレスさんが、3年間の任期を終え母国のイギリスへ帰国されました。  
サマンサさんは、普段は飯館中学校に勤務し、英語の授業をサポートしてきました。授業以外にも小学生の合宿通学や各イベントへ積極的に参加するなど、村民と交流を広め、みんなからサムの変称で親しまれていました。

ついに祖国イギリスに帰らなければならない時がきました。幸運にも、この飯館村に3年間住むことができ、最高の経験をすることができました。私は旅行が好きで、多くの国々を訪れましたが、日本はイギリスと異なるところが多く、実に興味深い国でした。文化の違いから大変だった時もありましたが、皆さんはいつもとても親切にしてくれました。

飯館村は素晴らしく美しく、住めたことは幸運に恵まれたと感じています。特に、アイスクリーム店、えん、極久里、手工芸店、あいの沢が大好きです。

また、多くの活動や行事にも参加しました。一番思い出深かったことは、新年会の時に公民館で太鼓をたたいたことです。1～2日目は、テニスやダンスをしたり、役場の野球チームに参加しました。3日目となる今年は琴に挑戦し、本当に楽しみました。

イギリスに戻ったら、最初に父のいるスペインを訪れ、その後イギリスに戻り、9月からはイギリスの大学へ通います。大学では、低学年の英語指導を専攻し小学校の先生になるために勉強します。今からわくわくしています。

皆さん、色々本当にありがとうございました。飯館村と素晴らしい人たちのことは絶対に忘れません。いつか戻ってきたいと思います。

サムより  
(訳：飯館中 鈴木昌幸先生)



▲生徒に英語を指導するサマンサさん

## Farewell Party

7月6日には、村教育委員会主催によるサマンサさんの送別会が「宿泊体験館きこり」で開催されました。送別会には村民約40人が出席し、サマンサさんと過ごした3年間を振り返りました。



なお、後任の英語指導助手として、ベッキー・エリザベス・コールさんがイギリス出身の女性・イギリス出身)が7月27日に着任されました。2学期からの英語指導を担当していただきます。

## いいたてJFCが福島県No.1

7/23・24



▲県大会で優勝した「いいたて」JFCの選手たち(写真は相双大会時)

会津若松市で開催された「第58回福島県総合体育大会」のサッカー小学生の部で、草野小サッカースポーツ少年団チーム「いいたてJFC」が見事に優勝を果たしました。  
同チームは、6月に行われた相双地区予選大会で優勝しており、県大会でも活躍が期待されています。  
選手たちは、大舞台で日頃の練習成果を十分に発揮し、ついに県大会優勝という偉業を成し遂げました。

## 今年も村内直売所と南向台で「直売所まつり」

7/16・17



▲野菜を買い求める買い物客(写真:二枚橋)

村内直売所と福島市南向台(16日のみ)で一斉に「直売所まつり」が行われ、野菜や花などを買い求める人たちが賑わいました。

これは、直売所の宣伝や販売促進を目的に、村直売所連絡協議会(佐藤萬会長)が主催したもので、今年で3年目。

今回、直売所まつりを行ったのは、二枚橋直売所(二枚橋) 前田ふれあい茶屋(前田) 館の菜(臼石) 直売所よつぐべ(深谷) 直売所みちくさ(草野) ばんかた農市(南向台)の6カ所。

期間中は、冷たい麦茶や野菜の一品プレゼント、特売品など、店によって様々なサービスが提供され、プレゼントを受け取った買い物客らは嬉しそうに顔をほころばせていました。

## “までい”に 人づきあい 助け合い

7/28 福祉講演会



▲講演会のようす

飯館村社会福祉協議会(小山茂会長)主催の福祉講演会が「いちばん館」で行なわれ、これからの福祉活動について理解を深めました。  
講演会では、福島大学行政政策学類の鈴木典夫助教が、「地域ぐるみで取り組む福祉活動について」と題して講演しました。

活動への参加が重要で、互いに支え合い・助け合いながら自立した生活を送れるようにすること。社会福祉協議会や民生委員の活動は地道であるが、これからの福祉の主流となる」と紹介。  
会場には、社会福祉協議会の理事や評議員、地域ぐるみ福祉活動推進委員、民生委員、ボランティア団体連協の会員など約60人が訪れ、講演に熱心に耳を傾けていました。